

“組織統合で失敗しないために！”  
デューデリジェンスポイント解説資料



# 【デューデリジェンス（DD）とは

デューデリジェンス（以下 DD）とは買い手側が企業価値の算出や事業などのリスクに対する把握を行い、**価格や取引が適切であるかを判断するための調査**です。

これ以外にも DD は M&A のスキーム選択や株主や顧客、従業員といった関係者への説明、契約後の PMI（組織統合）にとって必要となります。

調査内容は多岐に渡るため、外部の公認会計士や弁護士などに必要に応じて調査を依頼しましょう。

デューデリジェンスは最終的に**リスクを背負うのは買い手側**であり、今後の経営を左右する重要な項目ですので、売り手側も積極的に協力することが求められます。



# 【デューデリジェンス（DD）のフロー

DD にかかる期間は一般的に **1 か月から 2 か月ほど**です。

フローとしてはまず初期情報をもとに調査や分析を行い、必要な DD を絞ります。

その後絞った DD で必要な資料を新たに依頼し、分析します。

次に行われるのが経営層に対するインタビューです。

インタビューが終了すると専門家からの報告に伴い、条件の検討や契約書の作成を経て最終契約へと向かいます。



# 【 デューデリジェンスの種類

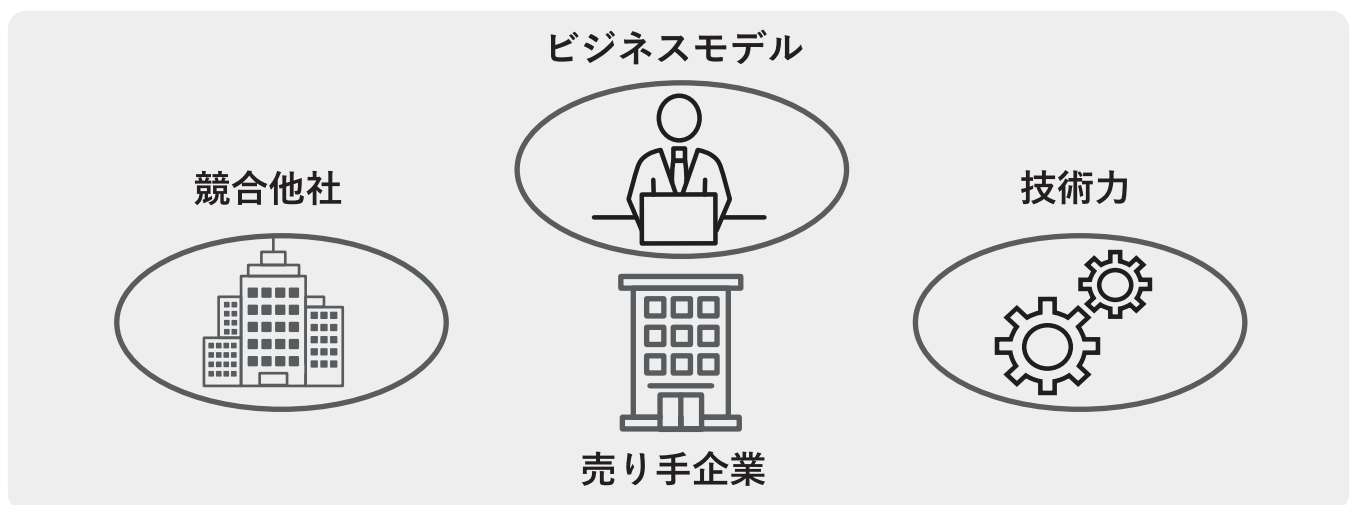
DDの種類は多岐にわたりますが、全て行う必要はなく、会社様ごとに適切な範囲のDDは異なります。

そのため、今回はDDの軸となる**4つの分野**についてご紹介します。

## ビジネスデューデリジェンス

このDDではビジネスモデルや市場の動向、競合他社の分析、技術力の分析など今後事業を成長させ、シナジーを創出できるかどうかを評価するために行われます。

買収額の妥当性を確認し、リスクを判断する上でも重要なDDの一つです。

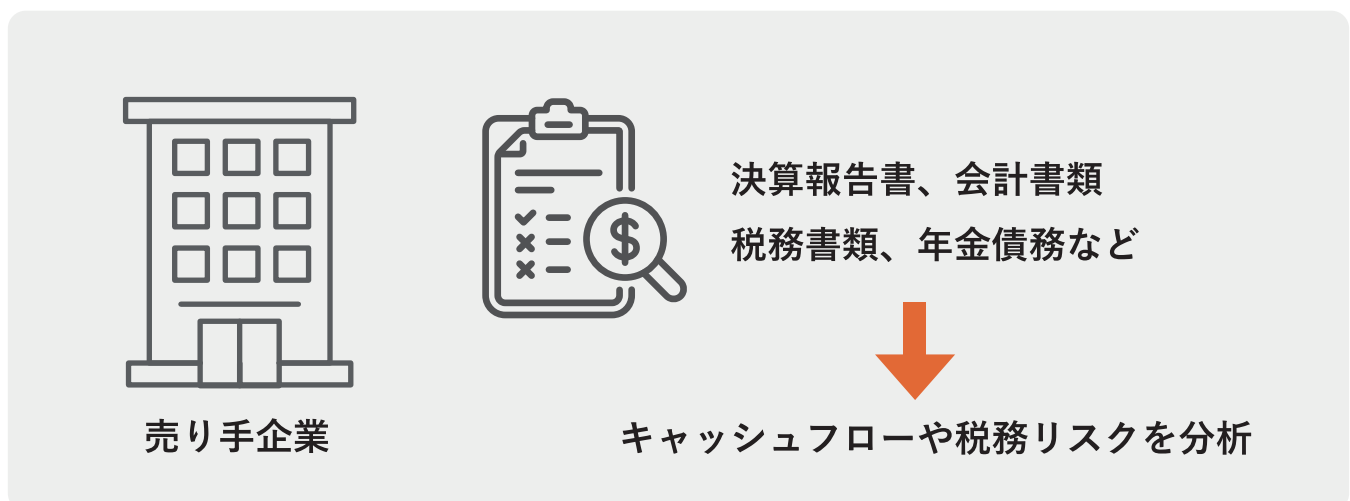


## 財務デューデリジェンス

基本的には会計事務所や税理士法人などに依頼し、財務情報から実態を把握することで事業計画の基礎となるキャッシュフローを予測します。

また過去の税務調査情報などを収集し、税務リスクの分析を行います。

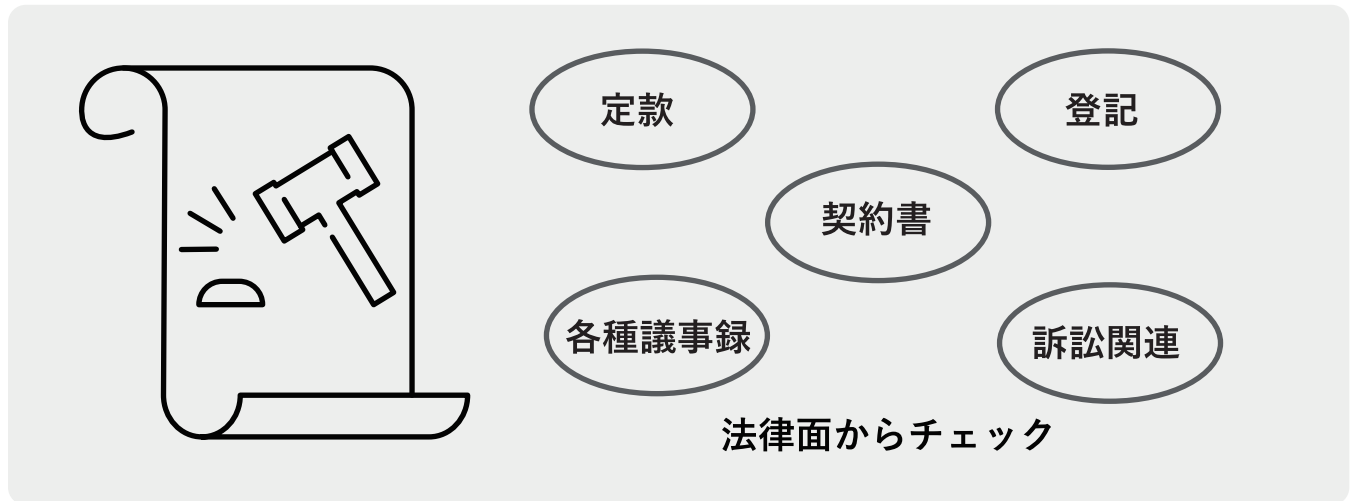
誤った税務処理や申告漏れには十分に注意しなければなりません。



## 法務デューデリジェンス

法務 DD では一般的に弁護士に依頼し、企業の定款や登記、各種議事録などを法律関わること全般を調査します。

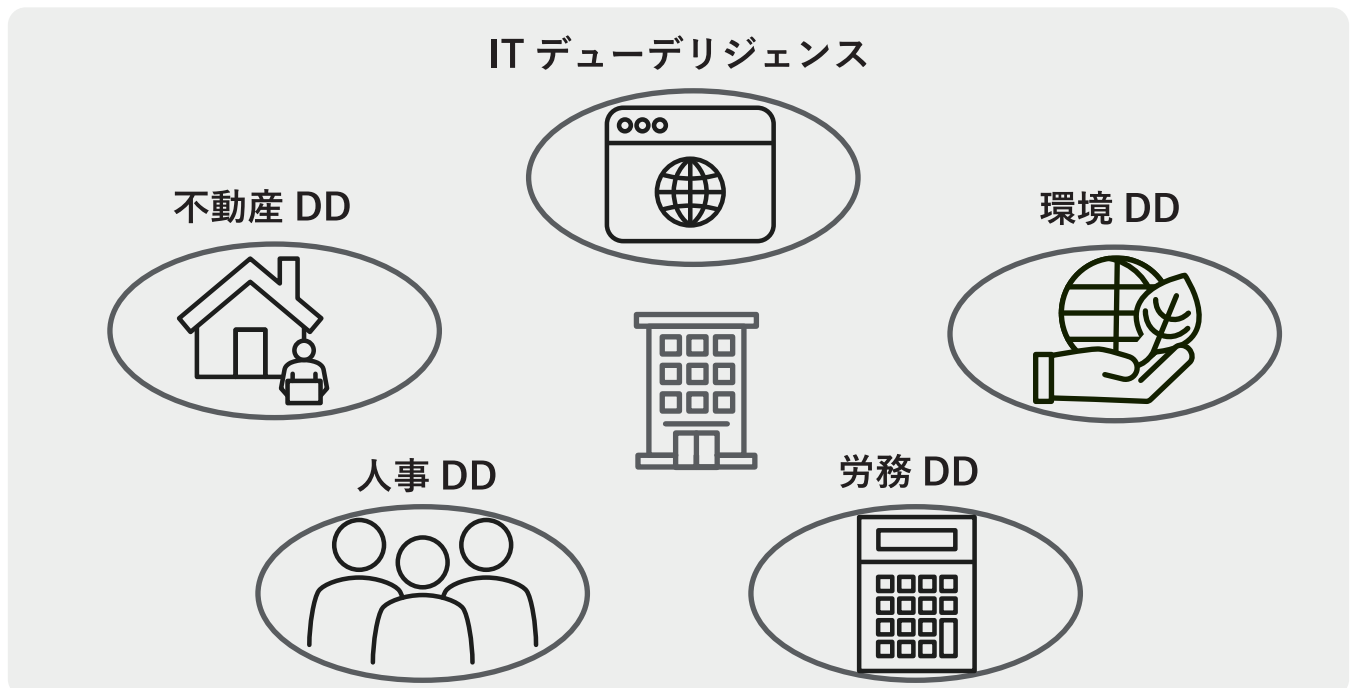
調査範囲は幅広いですが、法律上の問題を抱えたままだとその処理に時間を要し経営に多大な影響を及ぼしてしまうため、見逃しの無いよう入念なチェックが必要です。



## 専門デューデリジェンス

専門デューデリジェンスにおいてはそれぞれ異なる専門業社に依頼する形となります。行う会社様にもよりますが、IT デューデリジェンスや環境 DD、不動産 DD など様々な分野で存在します。

そのため、買い手側は必要かどうか判断し取捨選択が求められるのです。



# | デューデリジェンス（DD）の注意点

## ①過剰に情報を集めない

リスクを解消するために、少しでも多くの情報を得たい、という買い手側の意向はもっともなのですが、売り手側の立場に立つ必要があります。

売り手側にとっては必要以上の質疑応答、調査をされストレスが溜まってしまうのです。

**M&Aは買い手だけではなく売り手の合意のもとに成立するため、買い手本意のDDは案件がブレイクしてしまう可能性もあり、適切な範囲の情報を調査する必要があります。**

## ②丸投げしない

弁護士や公認会計士に調査を依頼するにあたって、丸投げをしてしまっていないですか？

決めるのは**経営者であるあなた**です。

また必要以上のDDを避けるためにも正しく買い手側が調査範囲を決定する必要があります。

必要のない情報ばかり集めても意味がないのです。

## ③デューデリジェンスの結果を明確に

M&AのDD後の結果が不明確な状態ならば注意が必要です。

**DDの目的はリスクを正しく把握すること**です。

結果が明確でなければ必要な情報を集めることはできません。

今一度DDが終わった後にどのような状態でいたいかを明確にしましょう。

# | まとめ

いかがだったでしょうか？

M&Aにおいてデューデリジェンスは必要な通過点であり、これを正しく行わない限りM&Aの組織統合が上手くいかず、求めるシナジーを得られない可能性があります。

また、基本的に調査を依頼するという形ではありますが、**デューデリジェンス後の状態が不明確で、当事者意識がない状態だと必ず失敗します。**

デューデリジェンスを詳しく学びたい！自社に適切な範囲のデューデリジェンスを知りたい！という方は只今M&Aの無料相談を行なっておりますのでぜひご活用ください。

M&A 無料相談はこちら >>

